

第3回 (仮称) 潟東地域コミュニティセンター※整備事業に関する地域と行政との協議概要 (確定版)

※以下「潟東コミセン」と表記します

～ 平成30年 4月25日ホームページ掲載予定 ～

■日 時：平成30年3月12日(月) 午後3時～4時

■会 場：潟東農村環境改善センター 多目的ホール

■出席者：

※順不同

(地域側) 潟東地域コミュニティ協議会会長、同協議会副会長2名、同協議会事務局長、同協議会防犯・安全部会長、青少年育成協議会会長、かたひがし女性ネットワーク会長、潟東地区民生児童委員連絡協議会会長、潟東小学校地域教育コーディネーター、潟東地区体育施設統括施設長

(行政側) 西蒲区役所：地域課長、同課長補佐、潟東出張所長、建築部：公共建築第1課長補佐、他職員5名

■欠席者：認定農業者会代表

■傍聴者数：0名

■次第：1. 開会

2. (仮称)潟東地域コミュニティセンター配置計画(案)、平面計画(案)について

3. 意見交換

4. 閉会

■意見交換 内容：

(1) 配置計画(案)、平面計画(案)についての説明(公共建築第1課)

◎配置計画案について

潟東体育館正面側に増築棟の建設を予定しており、現農村環境改善センター解体跡地を含め多目的広場、駐車場115台を計画している。配置についての考え方は、利用者がアプローチしやすく、わかりやすい配置、管理上事務室と連携がしやすい点、玄関近くに配置することによって中の利用を把握しやすくすることなどを考慮した。

スケジュールについて、増築棟、前面の駐車場スペースはH31年度施工、H32仮オープン、H32農村環境改善センターの解体工事後、H33に外構工事、H34にフルオープンの予定。

◎平面計画について

配置する部屋は多目的ホール、調理室兼研修室、トイレ。廃止する予定の施設での活動を整理し決定した。

- ・多目的ホール：農改センター多目的ホール利用が最多、エアロビクスやダンスの利用が半数以上あることから可動間仕切りを設置し、中ホール、小ホールと分けて利用できるようにした。

- ・調理室兼研修室：面積は潟東生活体験館をベース。カモねぎまつりやどろんこカップでの大量調理を想定した専用ガスコンロ、3層シンク等の常設や、外部からの食材搬入が可能のように玄関前の駐車場側にするなど計画。また、既存施設の利用実態に合わせ、調理台を3台、会議室として利用できるような壁側に想定。
- ・トイレについては女性用が大便器1器、男性用が大便器・小便器各1器ずつ設置する予定。

(2) 意見交換

◎配布資料と公共建築第1課からの説明をもとに意見交換を行いました。

◎地域側からの主な意見・要望は下記のとおりです。

- ・トイレについて、多目的ホールでの100人規模でのイベントを実施したときに、計画の便器数では少ないのではないかと。多目的トイレも必要。
- ・多目的ホールに避難口が必要。
- ・接続部分の既存体育館の倉庫について、フリースペースのような活用ができると良い。
- ・小ホールから調理室への出入り口があると利用範囲が広がる。
- ・体育館正面ポーチと増築部分との間にできるデッドスペースが気になる。
- ・ホールに放送設備や鏡が必要である。

◎これに対し行政側は、設備や詳細については可能な限り意見交換をしながらH30年度詰めていくと回答し、コミセンに配置する部屋の機能、配置などの大まかな部分について確認しました。

◎最後に行政側から今回の協議で出していただいた意見を参考に平成30年度の実施設計に入りますが、その過程において引き続き地域の皆さまからのご意見を伺う場面も想定しており、今後ともご協力いただくことを説明しました。